

使用頻度の高い電話番号をあらかじめ登録しておくことにより、その番号に対応した短縮番号で発信することができます。

固定短縮ダイヤル

登録方法

1. 受話器をあげて固定短縮ダイヤル発信特番 + 短縮番号 (~) ダイヤルします。
2. 固定短縮ダイヤルは ^{*}ヶ所まで登録できます。登録数が100ヶ所までの場合は短縮番号が2桁 (00~99) となり、100ヶ所を越える場合は3桁 (000~) となります。但し、100ヶ所を越える場合はオプション機能となります。

※貴社の登録数を記入して下さい。

3. 固定短縮ダイヤルを登録できるのはあらかじめ設定した保守電話機または中継台からです。
4. 登録は次の方法で行います。

受話機をあげて固定短縮ダイヤル登録特番 + 短縮番号 (~) + 相手先番号をダイヤルします。

※1 相手先番号の前に外線または専用線の発信特番を付加して下さい。

※2 専用線発信で桁間にポーズが必要な場合はポーズの位置に * をダイヤルして下さい。 * が1つで1秒間のポーズとなります。

(桁間ポーズの登録はプッシュホンのみ可能です。)

※3 相手先番号までダイヤルして数秒待つと、ツツツ…の登録確認音が聞こえます。

5. 固定短縮ダイヤル登録のし直しは、登録特番 + 短縮番号 (~) + 相手先番号をダイヤルする事により、上ぬりで登録ができます。

マルチ・キーテレホン

登録数が100ヶ所までの場合は **固定短ダ** キー+短縮番号 (00~99) で発信ができます。又、100ヶ所を越える場合は、 **固定短ダ** キー+短縮番号 (000~) で発信が出来ます。但し、100ヶ所を越える場合はオプション機能となります。

